

日本英語学会第31回大会  
ワークショッププログラム  
2013年11月9日(土) 9時30分から11時45分まで  
福岡大学

(ワークショップ)

**第1室 「空項(null argument)の諸問題をめぐって」**

(A棟2階 A202教室)

責任者：阿部 潤 (東北学院大学 (非常勤))

司会者：阿部 潤 (東北学院大学 (非常勤))

発表者：山下秀哲 (横浜市立大学 (非常勤)) “Null Arguments and String Vacuous Phonetically Inaudible Scrambling in Japanese”

発表者：奥 聡 (北海道大学) “Japanese Ellipsis Revisited: Defocusing, Remnants, and Adjuncts”

発表者：阿部 潤 (東北学院大学 (非常勤)) “Why Not VP-Ellipsis Analysis for Japanese Null Arguments?”

**第2室 “Simplest Merge and Label Identification by Minimal Search”**

(A棟2階 A203教室)

責任者：北原久嗣 (慶應義塾大学)

司会者：北原久嗣 (慶應義塾大学)

発表者：北原久嗣 (慶應義塾大学) “Labeling by Minimal Search: Implications for Movement”

発表者：成田広樹 (早稲田大学) “Labeling, Chains, and Full Interpretation”

発表者：斎藤 衛 (南山大学) “Labeling and Parametric Syntax: Some Preliminary Ideas”

**第3室 「公的自己・私的自己中心性と日英語の文法現象:「言語使用の三層モデル」からの視点」**

(A棟4階 A401教室)

責任者：志澤 剛 (目白大学)

司会者：志澤 剛 (目白大学)

発表者：廣瀬幸生 (筑波大学) 「言語使用の三層モデル：概要と応用」

発表者：今野弘章 (奈良女子大学) 「『私的表現』の文法的意義」

発表者：五十嵐啓太 (筑波大学大学院) 「遂行節 I tell you と情報の優位性」

発表者：志澤 剛 (目白大学) 「場所句倒置構文の修辞効果：言語使用の三層モデルの視点から」

**第4室 “Foundational Issues in Phase Theory”**

(A棟4階 A402教室)

責任者：後藤 亘 (三重大学)

司会者：後藤 亘 (三重大学)

発表者：高橋真彦 (三重大学) “Case-valuation and Phase Edges”

発表者：瀧田健介 (三重大学) “Twin Peaks at the Phase Edge”

発表者：前田雅子 (九州工業大学) “Labeling and Criterial Head Movement”

発表者：後藤 亘 (三重大学) “Some Consequences of Deletion by Phase”

## 第5室「状態性述語の形態・統語・意味をめぐって」

(A棟4階 A403教室)

責任者：漆原朗子（北九州市立大学）

司会者：漆原朗子（北九州市立大学）

発表者：漆原朗子（北九州市立大学）

「節およびDP内部における日本語形容詞類の形態的  
実現」

発表者：岸本秀樹（神戸大学）

「状態述語と感嘆表現」

発表者：多田浩章（福岡大学）

「状態性と測定可能性」

(スチューデント・ワークショップ)

## 第6室「構文的意味の諸相：その境界線を越えて」

(A棟1階 A101教室)

責任者：浜田啓志（慶應義塾大学大学院）

司会者：井上逸兵（慶應義塾大学）

発表者：浜田啓志（慶應義塾大学大学院）

「構文研究の射程：その可能性をめぐって」

発表者：野中大輔（東京大学大学院）

「構文の複合形：場所格交替を例として」

発表者：小笠原清香（立教大学大学院）

「共起関係からみる強意副詞の意味変化」

発表者：穂元美咲（慶應義塾大学大学院）

「構文的意味からみるリスト表現」

\* ハンドアウトは各企画責任者が発表会場に用意します。部数には限りがありますので予め御了承下さい。

\* 各ワークショップ会場の詳細につきましては、「大会資料・プログラム」をご覧ください。